

OIE（国際獣疫事務局）におけるBSEステータスの分類と貿易条件（牛）

ステータス	貿易条件
無視できるリスクの国	①とさつ前検査に合格 ②飼料規制が施行された日以降に出生した牛由来であること
管理されたリスクの国	①とさつ前検査に合格 ②ピッシング等が行われていないこと ③SRMが除去されていること SRMの範囲：全月齢の扁桃・回腸遠位部、30か月齢超の脳・眼・せき髄・頭蓋骨・せき柱
不明のリスクの国	①とさつ前検査に合格 ②ピッシング等が行われていないこと ③SRMが除去されていること SRMの範囲：全月齢の扁桃・回腸遠位部、12か月齢超の脳・眼・せき髄・頭蓋骨・せき柱

出典：Chapter 11.4. Bovine spongiform encephalopathy of the OIE Terrestrial Animal Health Code（2015年最終改正）

リスク評価を行った月齢条件		30か月齢以下	条件なし
直近の評価国（答申日）		スペイン（2019/06/25）	フランス（2020/01/14）
リスク管理措置について	当該国の生体牛のリスク	<ul style="list-style-type: none"> ①国内安定性 <ul style="list-style-type: none"> - 飼料規制 - SRMの利用実態 - レンダリングの条件 - 交差汚染防止対策 ②BSE感染状況 <ul style="list-style-type: none"> - サーベイランス <ul style="list-style-type: none"> - BSE発生状況（定型/非定型） - BSE 検査陽性牛の出生時期 	<ul style="list-style-type: none"> ①侵入リスク <ul style="list-style-type: none"> - 生体牛 - 肉骨粉等 ②国内安定性 <ul style="list-style-type: none"> - 飼料規制 - SRMの利用実態 - レンダリング施設・飼料工場の交差汚染防止対策 <ul style="list-style-type: none"> - 監視体制及び遵守状況 ③サーベイランス ④BSE発生状況 <ul style="list-style-type: none"> - 発生の概況（定型/非定型） - 出生コホートの特性 <ul style="list-style-type: none"> - 2011年生まれの牛で確認された定型BSE陽性牛に関する疫学調査
	当該国の食肉処理に関連したリスク	<ul style="list-style-type: none"> ①SRM除去 <ul style="list-style-type: none"> - SRMの定義、除去、実施方法 - ②と畜場での検査 <ul style="list-style-type: none"> - と畜場での検査 - スタンニング、ピッシング ③MRM 	<ul style="list-style-type: none"> ①SRM除去 <ul style="list-style-type: none"> - SRM除去の実施方法等 - SSOP、HACCPに基づく管理 ②と畜処理の各プロセス <ul style="list-style-type: none"> - と畜前検査 - スタンニング、ピッシング - その他（MRM、と畜場及びと畜頭数、我が国における輸入時検疫）
BSEの人への感染リスク		<ul style="list-style-type: none"> ・ 定型BSE感染牛のPrP^{Sc}組織分布 ・ 牛と人との種間バリア ・ 非定型BSE 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定型BSE感染牛のPrP^{Sc}組織分布 ・ 牛と人との種間バリア ・ 非定型BSE